

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第49週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は957人(定点あたり27.9)で、前週比120%と増加した。

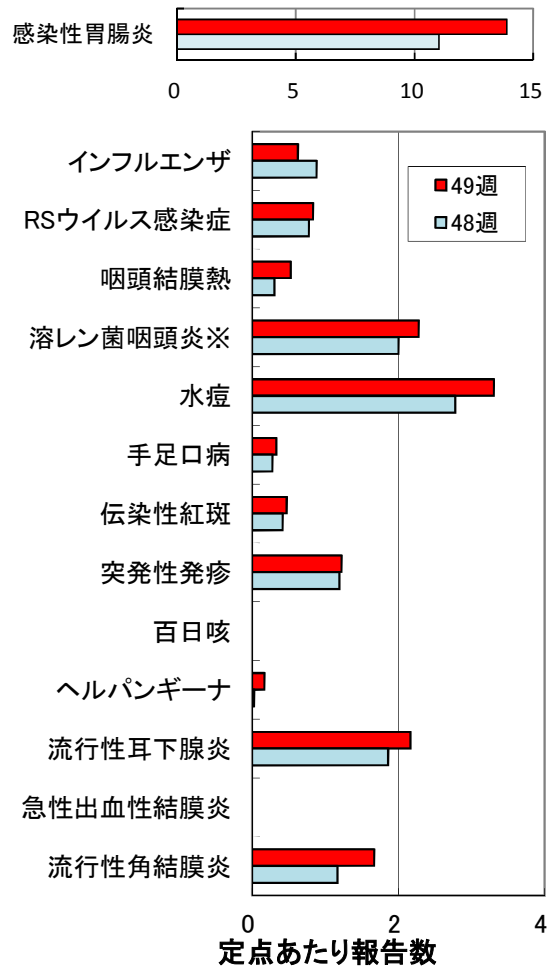
前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

感染性胃腸炎の報告数は500人(13.9)で前週比126%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(17.4)の約8割である。宮崎市(19.2)・高鍋(19.0)・日南(18.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳で全体の約4割を占めた。

水痘の報告数は119人(3.3)で前週比119%と増加した。4週連続で増加している。例年同時期の定点あたり平均値(3.0)の約1.1倍である。中央(7.0)・延岡(5.8)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳で全体の約7割を占めた。

マイコプラズマ肺炎3人が都城・延岡・高鍋保健所から報告された。患者は3歳、14歳、80歳代で病原体は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

《前週との比較》



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 疾患別流行警報開始基準値超過疾患

疾患名	流行警報開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	2.3	中央(10.0)	4歳から9歳で全体の約8割を占めた。
水痘	7	3.3	中央(7.0)	1歳から3歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.2	中央(9.0)、高千穂(8.0)	1歳から6歳で全体の約7割を占めた。

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患	保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	なし	高鍋	なし
都城	なし	高千穂	流行性耳下腺炎(8.0)
延岡	なし	日向	なし
日南	なし	中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)、 水痘(7.0)、流行性耳下腺炎(9.0)
小林	なし		

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 3 例が高鍋 (2 例)、宮崎市 (1 例) 保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・90 歳代の女性で肺結核。
 《高鍋保健所》・60 歳代の男性でその他の結核 (結核性胸膜炎)。咳がみられた。
 ・80 歳代の女性で肺結核。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : つつが虫病 6 例が都城・小林 (各 2 例)、宮崎市・日南 (各 1 例) 保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・70 歳代の男性で発熱、刺し口、発しんがみられた。
 《都城保健所》・50 歳代の女性で頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しんがみられた。
 ・50 歳代の男性で頭痛、発熱、刺し口、発しん、関節痛、強い倦怠感がみられた。
 《日南保健所》・50 歳代の男性で発熱、刺し口、発しんがみられた。
 《小林保健所》・50 歳代の女性で発熱、刺し口、発しんがみられた。
 ・60 歳代の女性で頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しんがみられた。
- 5 類感染症 : 報告なし。

■ 全国第 48 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 17.6 で、前週比 122% と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 2,781 人 (0.57) で、前週比 197% と増加した。宮城県 (4.1)、三重県 (2.9)、愛知県 (2.3) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 35%、6 歳から 9 歳が 27%、10 歳から 14 歳が 15%、15 歳から 19 歳が 3%、20 歳以上が 20% を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 22,064 人 (7.0) で、前週比 138% と増加した。香川県 (12.7)、島根県 (12.3)、山口県 (11.7) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約半数を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,508 人 (2.1) で、前週比 124% と増加した。大分県 (4.4)、北海道 (4.0)、富山県 (3.9) からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 7 歳で全体の約半数を占めた。

□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 392 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 6 例、腸管出血性大腸菌感染症 30 例、腸チフス 1 例、パラチフス 1 例
- 4 類感染症 : A型肝炎 2 例、つつが虫病 26 例、デング熱 2 例、日本紅斑熱 6 例、ブルセラ症 1 例、レジオネラ症 17 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 4 例、ウイルス性肝炎 3 例、急性脳炎 5 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例、後天性免疫不全症候群 8 例、ジアルジア症 1 例、髄膜炎菌性髄膜炎 2 例、梅毒 12 例、破傷風 2 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2 例、風しん 2 例、麻しん 2 例

■月報告対象疾患の発生動向 <11月>

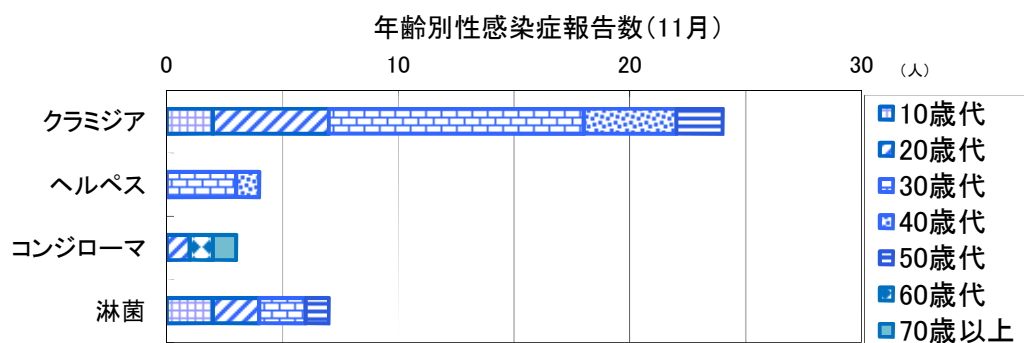
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人（2.9）で、前月比68%と減少した。また、昨年11月（3.5）の約8割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数24人（1.9）で、前月の約7割、前年の約9割であった。宮崎市（3.8）、延岡・日向（各2.0）保健所からの報告が多く、男性14人・女性10人で、30歳代が全体の約半数を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人（0.31）で、前月と同数、前年の約4割であった。すべて女性で、30歳代が3人、40歳代が1人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、前月及び前年の約8割であった。男性1人・女性2人で、20歳代・60歳代・70歳以上が各1人であった。
- 淋菌感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約半数、前年の約1.4倍であった。男性6人・女性1人で、10歳代・20歳代・30歳代が各2人、50歳代が1人であった。



【全国】 定点医療機関総数：964

定点医療機関からの報告総数は3,916人（4.1）で、前月比91%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,996人（2.1）で前月比88%、性器ヘルペスウイルス感染症690人（0.72）で前月比99%、尖圭コンジローマ397人（0.41）で前月比93%、淋菌感染症833人（0.86）で前月比94%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は33人（4.7）で前月比87%と減少した。また、昨年11月（6.0）の約8割であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数29人（4.1）で、前月の約8割、前年の約9割であった。宮崎市・日南（各8.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人（0.29）で、前月の約2倍、前年の約2割であった。宮崎市・延岡（各1.0）保健所からの報告で、0歳と40歳代であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数は2人（0.29）で前月の約2倍であった。延岡（2.0）保健所からの報告で、60歳代と70歳以上であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：465

定点医療機関からの報告総数は2,377人（5.1）で、前月比99%とほぼ同程度であった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,929人（4.2）で前月比96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症412人（0.89）で前月比117%、薬剤耐性緑膿菌感染症32人（0.07）で前月比64%、薬剤耐性アシネトバクター感染症4人（0.01）であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第49週(12月05日～12月11日)

疾病名		第48週	第49週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	52	37	2		9		21			5	
	定点あたり	0.88	0.63	0.13	0.00	1.29	0.00	4.20	0.00	0.00	0.83	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	28	30	5		5			13		7	
	定点あたり	0.78	0.83	0.50	0.00	1.25	0.00	0.00	3.25	0.00	1.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	11	19		8		4		1		6	
	定点あたり	0.31	0.53	0.00	1.33	0.00	1.33	0.00	0.25	0.00	1.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	72	82	7	10	24	4		12	4	11	10
	定点あたり	2.00	2.28	0.70	1.67	6.00	1.33	0.00	3.00	4.00	2.75	10.00
感染性胃腸炎	報告数	397	500	192	68	14	54	47	76	2	35	12
	定点あたり	11.03	13.89	19.20	11.33	3.50	18.00	15.67	19.00	2.00	8.75	12.00
水痘	報告数	100	119	30	12	23	13	13	15		6	7
	定点あたり	2.78	3.31	3.00	2.00	5.75	4.33	4.33	3.75	0.00	1.50	7.00
手足口病	報告数	10	12	1	9	1	1					
	定点あたり	0.28	0.33	0.10	1.50	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	15	17	5		5			3		4	
	定点あたり	0.42	0.47	0.50	0.00	1.25	0.00	0.00	0.75	0.00	1.00	0.00
突発性発しん	報告数	43	44	13	11	7	1	2	5		5	
	定点あたり	1.19	1.22	1.30	1.83	1.75	0.33	0.67	1.25	0.00	1.25	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	6	3	1	1			1			
	定点あたり	0.03	0.17	0.30	0.17	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	67	78	26	12	2	13		5	8	3	9
	定点あたり	1.86	2.17	2.60	2.00	0.50	4.33	0.00	1.25	8.00	0.75	9.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	10	8	2							
	定点あたり	1.17	1.67	2.67	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数										0.00	
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	4	3		1	1			1			
	定点あたり	0.57	0.43	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～49週)

2類感染症	結核	249例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	68例				
4類感染症	A型肝炎	1例	チクングニア熱	1例	つつが虫病	13例(6)
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	1例	レプトスピラ症	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	9例	ウイルス性肝炎	5例	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	12例
	髄膜炎菌性髄膜炎	2例	梅毒	8例	破傷風	8例
	風しん	1例	麻しん	1例		

●動物感染症累積報告数(2011年1週～49週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲